

海老名災害ボランティアネットワークだより



第30号

発行 海老名災害ボランティアネットワーク(海老名災ボラ)
事務局 海老名市上郷 474-1 海老名市社会福祉協議会地域福祉課内
ホームページアドレス <http://www.ebina-saibora.net/>

首都直下型地震に備え、市民の防災減災力(自助)の向上を目指し活動を強化

海老名災ボラは、平成29年4月15日に定期総会を開催し、平成29年度役員、平成29年度事業計画、平成29年度予算などを決定しました。平成29年度の事業計画では、首都直下型地震の発生確率が高まっている今日、海老名災ボラは、大規模な地震が発生した場合、大規模地震による人的物的な被害を少しでも減らし、市民の命と健康を守るためには、自助・共助・公助の連携・協力が必要であり、とりわけ自助(自分や家族の身を守る自分自身の活動)が出発点であることを強調しました。

① 海老名災ボラが主催:体験型・減災・災害対応訓練(2017年9月を予定)

市民が自分で出来る災害対策(自助)として、家具の転倒防止対策、ガラスの飛散防止対策、水の備蓄と運び方訓練、水道が停止した状態での災害時のトイレの使い方、明かりの作り方などを体験する訓練です。参加者は募集します。

② 自治会・福祉団体などが主催する体験型・防災減災訓練への協力

自治会・福祉団体や各種の団体が、加入している方々の災害への関心と災害への対応能力を高める(自助能力の向上)防災減災訓練に協力支援します。防災グッズの使い方体験、指導員の派遣など、日程と内容を各団体と協議します。

③ 小学校児童の防災教育(福祉教室・えびなっ子クールなど)への協力

海老名市内の各小学校で実施されている福祉教室やえびなっ子スクールで、「防災ポーチの活用」や「ブルーシートを利用した三角テントの作り方」などの、説明と実演を、わかり易く行います。その小学校と協議します。

④ 災害救援ボランティア・コーディネーター養成講座(2018年2月を予定)

海老名が被災地となった時などに、海老名市災害救援ボランティアセンターが設置されます。その時に、救援ボランティアセンターのスタッフとして活動できる人(ボランティアコーディネーター)を養成します。

皆様のご参加をお待ちしています



平成28年度(下期)活動報告

『えびな安全・安心フェスティバル』…に参加

平成28年10月23日(日)

2016年10月23日に開催された、「えびな安全安心フェスティバル」に災ボラも出店しました。

防災・減災に関するアンケート調査、新聞紙やビニール袋を使った防災グッズづくり等を、家族連れなど市民の皆さんに実施して頂き、防災・減災に関する意識の啓発を行いました。



『体験型講座：減災・災害対応訓練』…を開催

平成28年11月26日(土)

寒い日でしたが、海老名市民が参加してくださり、海老名災害ボランティアネットワーク(略称：海老名災ボラ)の会員がインストラクターとなって、6種類の体験講座を海老名市総合福祉会館で実施しました。

- ① 食糧の備蓄と災害食の体験
- ② 水の備蓄とさまざまな運び方
- ③ 災害時トイレの作り方と使い方
- ④ 家具の転倒防止と固定方法
- ⑤ ガラス飛散防止
- ⑥ シェイクアウト訓練



『県央社協主催の災害図上訓練(DGU)』…に参加

平成28年12月7日(水)

神奈川県社会福祉協議会の県央地域ブロック主催による図上訓練が、2016年12月7日に「アミューあつぎ」の6階会議室で開催され、海老名市社協と共に海老名災ボラも参加しました。

首都直下型地震が発生した場合、県央地域の社会福祉協議会と災害ボランティアネットワークが協力して、各地域の災害救援ボランティアセンターを設置し、被災者のニーズとを把握するとともに、支援のボランティアとの結合(マッチング)を行うことになっています。今回は、厚木市で開催されることから、厚木市でM7程度の直下型地震が起ったと想定して、県央地域の災害救援ボランティアセンターがどのように協力していけるかを、図上訓練を通して検討しました。

『イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン』…に参加

毎月11日 イオン海老名店

海老名災ボラはイオンの幸せの黄色いレシートキャンペーンに参加しています。

平成28年度贈呈式が4月15日にイオン海老名店1階立体駐車場特設会場で行われました。橋下代表が出席し23,100円分のギフトカードが贈呈されました。災ボラの活動に必要なパソコン周辺機器、文具などを購入しています。



平成28年度(下期)活動報告つづき

『手話サークルさつき会:体験型災害対応訓練』…を実施

平成29年2月4日(土)

海老名市総合福祉会館で、手話サークルさつき会が体験型災害対応訓練を実施し、海老名災害ボランティアネットワークは協力しました。海老名災ボラは資料を印刷するとともに、訓練に必要な用具などを準備し、体験課目ごとに2~3名の講師役を配置しました。

午後1時30分、手話サークルさつき会の会員と聴覚に障害を持つ方たち合計で35名が集まりました。

体験課目は、

- ①ブルーシートを活用した三角テント、
- ②災害時トイレ活用体験、
- ③災害時の明かり作り、
- ④災害食の試食体験の4つです。



【災害時トイレ活用体験】

参加者35人が3班に分かれ、3つの部屋にそれぞれ設置した①~③の講習を受けました。災ボラ会員の説明を手話通訳者が手話で通訳して頂きました。

『災害救援ボランティア・コーディネーター養成講座』…を開催

平成29年2月16日(土)、25日(土)



海老名市救援ボランティアセンターのスタッフを養成する「災害救援ボランティア・コーディネーター養成講座」が海老名市総合福祉会館で開催されました。個人参加で数名、団体参加として海老名青年会議所から数名が参加しました。全2日間の講座を修了した方には修了証が渡され、いざという時に災害救援ボランティアセンターが設置された場合、ボランティア・スタッフとして活動できるように名簿に登録しました。養成講座終了後に、海老名災ボラの会員に加入した方もありました。

【養成講座の概要は次の通り】

2017年2月18日(土) 第1日目、講義(座学)中心

- ①開会・オリエンテーション、②参加者の自己紹介、受講動機など
- ③災害時における海老名市の対応:海老名市危機管理課より
- ④災害時における社会福祉協議会の役割:海老名市社会福祉協議会
- ⑤海老名災害ボランティアネットワークの活動について:海老名災ボラ
- ⑥災害救援ボランティアコーディネーターの役割について:神奈川災ボラ
- ⑦海老名災害救援ボランティアセンターの運営について:海老名市社会福祉協議会



2017年2月25日(土) 第2日目、災害救援ボランティアセンター立ち上げ訓練

総合福祉会館の駐車場にテントを張って実施。

- ①オリエンテーション
- ②災害救援ボランティアセンター立ち上げ訓練

地震時の安全の基本行動を身につけよう！

全国各地で「シェイクアウト」という新しいタイプの防災訓練が広がっています。

このシェイクアウト(防災訓練)の目的は ●地震にあっても「ケガ」をしない

●身近な人を助ける

地震が発生した時

●地域防災力向上に貢献できる人を育てる

＜自分自身の命を守る基本行動＞

- 1 姿勢を低く
- 2 体・頭を守って
- 3 揺れが収まるまでじっとして

＜あなたの住まいの安全対策を＞

- テーブルなど「動くもの」の固定
- 食器棚など「倒れるもの」の固定
- 「飛び出すもの」「落ちるもの」の固定
- 「割れるもの」への対策など

会員募集

災害時以外の日々の活動も・・・

「自分も何かの役に立ちたい！！」

そんな気持ちをお持ちの方、大歓迎！！



いざ災害、というとき
助け合える市民のネットワークづくりに
あなたの力を貸してください。
年齢性別は問いません。

年会費

- 1 □ 1000円
- 個人会員 2□以上
- 賛助会員 1□以上
- 法人・団体会員 3□以上

お問い合わせ

〒243-0434
海老名市上郷 474-1
海老名市社会福祉協議会地域福祉課内
海老名災害ボランティアネットワーク
Tel. 046-232-1600
Fax. 046-232-9561

日本列島いつどこで地震などの大災害が起こるか知れませんが、いざという時には普段の心構えや訓練が活かされます。海老名災害救援ボランティアネットワーク(EDVN)では「招かざる客」災害に備えた活動を行なっています。皆さまのご協力をお願いします。